

日本医史学雑誌二十九卷総目次

原著

慶長使節と南蛮医学……………山形 敏一……………一〇一  
 鼠の自然発生実験の考察—実験中の事故に  
 よる結果は史論の対象にはならない…安江 政一…一〇一  
 安政年度のコレラ流行の北限について…松木 明知…一〇一  
 中川五郎治の種痘法の研究—新たに発見  
 された被接種者……………松木 明知…一〇一  
 御雇教師エルンスト・チーゲル(二)…小関 恒雄…一〇一  
 日葡辞書から見た安土桃山時代の医学—二  
 くすり……………亀 節子・大槻 彰・前川久太郎…一〇一  
 Smallpox mortality in a mountainous  
 District in Japan where neither  
 variolation nor vaccination had been  
 performed…Keizo SUDA, Masao SOEKAWA…一〇一  
 佐藤尚中先生歿後一〇〇年祭挨拶……………有山 登…一〇一  
 佐倉時代の尚中……………篠丸 頼彦…一〇一  
 長崎時代の佐藤尚中……………中西 啓…一〇一  
 佐藤尚中と大学東校……………小川 鼎三…一〇一  
 尚中の私生活……………大滝 紀雄…一〇一  
 佐藤尚中先生略年譜……………二〇一  
 佐藤尚中先生歿後一〇〇年記念展覧会目録……………二〇一  
 御雇教師ミュレルとホフマン(一)…小関 恒雄…二〇一  
 日本における初期の小児科領域について

の一考察……………安達原睦子…二〇一  
 「麻酔」の語史学的研究……………松木 明知…二〇一  
 Contribution of Kitasato to the Improvement  
 of Smallpox Vaccine in Japan  
 ……Masao SOEKAWA…二〇一

『万安方』の小児門について

安達原睦子…二〇一  
 狐憑き研究史—明治時代を中心に…岡田 靖雄…二〇一  
 世界最初のクロロフォルム麻酔死  
 について……………松木 明知…二〇一  
 明七雑誌について……………石田 純郎…二〇一  
 大槻玄沢と「西廣対晤」……………山形 敏一…二〇一  
 池田謙齋—初代東京大学医学部総理(一)  
 ……堀江 健也…二〇一  
 藤野殿九郎の蘭学の系譜と生地……………泉 彪之助…二〇一

研究ノート

欽明朝に來日した百済の医師有悛院  
 について……………松木 明知…二〇一

資料

ベルツに関する資料若干……………小関 恒雄…二〇一  
 明治初期の兵庫のローカル英字新聞記事  
 に見る在日外国人医師名……………石田 純郎…二〇一  
 シーボルト処方録……………戸塚武比古…二〇一  
 第一次東京大学医学部の一面……………不破 義信…二〇一  
 明治六、七年度東京大学医学部学科表…小関 恒雄…二〇一

第84回日本医史学会総会演題目次

特別講演

- 医学史に現われた寸白蟲……………大島 智夫…二五〇～二六  
 中国の歴史における医……………山本 徳子…二九〇～二九  
 会長講演

- 歴史的にみた神奈川の医療……………大滝 紀雄…二〇二～二〇四  
 一般口演

- 1、医学のシンボル「蛇杖」の歴史……………古川 明…二〇五～二〇七  
 2、医学史の歴史……………中川 米造…二〇七～二〇八  
 3、医学教育における医史学資料の  
 評価……………寺畑 喜朔…二〇八～二一〇  
 4、外科の守護聖人サン・コームに  
 ついて……………大村 敏郎…二一〇～二一三  
 5、堺県医学校補遺……………宗田 一…二一三～二一五  
 6、『医務取調書上』と『医者履歴明細書』  
 —明治初年の医師現状調査について—深瀬泰旦…二一五～二一七  
 7、わが国最初の医学雑誌……………谷津三雄・鈴木 勝…二一八～二一九  
 8、大槻玄沢と西貢会話……………山形 敏一…二一九～二二〇  
 9、文学に現われたパラケルスス像……………大橋 博司…二二〇～二二三  
 10、ヘルマン・ブルーハーフの座石の  
 銘「単純は真理のしるしなり」の語  
 源について……………守屋 正…二二三  
 11、イギリスにおける病院の近代化……………小沢 吉見…二三四  
 12、モーゼス・マイモニデスの『喘息論』

- について……………石渡 隆司…二三五～二三八  
 13、安政年間相模国における長州藩の  
 医療……………田中 助一…二三七～二九  
 14、いわゆる「ターヘル・アナトミア」と  
 解体新書の比較(その四)……………酒井 恒…二九〇～二九  
 15、モンテベルデ作エドワード・  
 ジェンナーの青銅像……………加藤 四郎…二九二～二九  
 16、ウトレヒト陸軍軍医学校テキスト、  
 フレスの解剖書とその日本への伝播  
 ………………石田純郎、ハルム・ボイケルス…二九三～二九五  
 17、A・F・ボードイン帰国時の賞典授与  
 の経緯について……………松田 武…二九六  
 18、青木大輔編「西洋医家名和訳覚帳」  
 その他について……………玉手 英典…二九七～二九九  
 19、明治二十年以前の翻訳西洋医学書の  
 出版動向……………水間棟彦・酒井シヅ…二九九～三〇四  
 20、山本亡羊の門人簿について……………遠藤 正治…三〇四～三〇五  
 21、石川玄常について……………津田 進三…三〇五～三〇五  
 22、中津藩と村上玄水……………川島 真人…三〇五～三〇六  
 23、アルメイダ没後四百年の足跡を  
 訪ねて……………東野 利夫…三〇六～三〇九  
 24、藤野殿九郎の蘭学の系譜……………泉 彪之助…三〇九～三一  
 25、目黒道琢の事蹟について……………中島 康伸…三一〇～三一四  
 26、村医と著述—河内国坂村三浦蘭阪の

- 場合……………末中 哲夫…一四〇～一四一
- 27、医師木戸麟の近代社会への貢献……………丸山 知良…一七〇～一七五
- 28、『太素』と『素問』『靈樞』の比較的考察……………丸山 敏秋…一七〇～一七五
- 29、宮内庁書陵部所蔵五卷本『和剂局方』について……………小曾戸 洋…一〇二～一〇三
- 30、『医心方』の伝写について(Ⅲ)……………杉立 義一…一六二～一六三
- 31、『万安方』の小児門について……………安達原 睦子…一六四～一六六
- 32、「麻疹」名義考……………三井 駿一…一六六～一六八
- 33、安芸家(北小路家)「御産所日記」について……………北小路 博央…一六九～一七二
- 34、日葡辞書から見た安土桃山時代の医学…Ⅲ身体部位語  
……………亀 節子・大槻 彰・前川久太郎…一七二～一七三
- 35、『東谷御林人参一卷』と松平君山……………安江 政一…一七四～一七五
- 36、我が川島家の医史……………川島 恂二…一七六～一七八
- 37、江戸時代の家庭看護……………山根 信子…一七六～一七九
- 38、明治時代の公立医学学校廃止の顛末(その二)……………西川 溟八…一八〇～一八二
- 39、一般人を対象とした現役軍医の病院……………佐久間 温巳…一八三～一八四
- 40、岡谷蚕糸博物館所蔵資料にみる製糸工女の医療費負担について……………清水 勝嘉…一八四～一八六
- 第六報 福利厚生施設調査……………清水 勝嘉…一八四～一八六
- 41、本邦における医学放射線技術教育の史的推移……………今市 正義…一七〇
- 42、南洋庁の医事衛生事情……………関根 正雄…一八一～一八〇
- 43、産業報国会関係資料……………森 博…一八〇～一八二
- 44、中国古代医学に於ける五行説について……………家本 誠一…一八二～一八四
- 45、中国古代原始本草体系の推察……………森村 謙一…一八五～一八六
- 46、中国医学と道教Ⅲ薬籤について……………吉元 昭治…一八六～一八九
- 47、華佗と麻酔……………松木 明知…一八九～一九〇
- 48、日本に於ける朱丹溪学説の受容について……………安井 広迪…一九〇～一九二
- 49、中国伝統医学修得学生の漢語素養について(その二)……………小杉 順一…一九二～一九四
- 50、E・ベルツの憑依論について……………安井 広…一九五～一九六
- 51、狐憑症研究小史—E・ベルツ、島村俊一、呉 秀三—……………岡田靖雄…一九七～一九九
- 52、日本における包帯の歴史に関する研究(Ⅰ)「繃帯彙編」の原典……………蒲原 宏…一九九～二〇一
- 53、昭和前期の労働衛生史……………乾 修然…二〇二～二〇四
- 54、日本の高温労働環境の歴史……………三浦 豊彦…二〇四～二〇六
- 55、日本における対癌運動史序説—北海道対癌協会について—……………長門谷洋治…二〇七～二〇九
- 56、(紙上発表)「麻酔」の語史的

- 研究……………松木 明知…三九〇～三〇〇
- 57、(紙上発表) 日本の脊髄麻酔の歴史  
 —とくにヤコビー線に関連して—松木 明知…三三二
- 58、(紙上発表) 横浜山手病院……………桑原千代子…三三三～三三四